

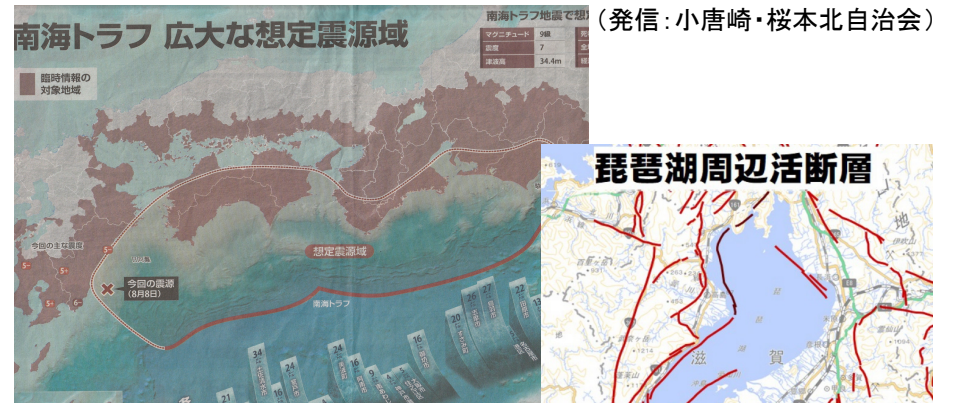
# 南海トラフ巨大地震および琵琶湖西岸断層帯地震によるハザードマップ（滋賀県防災情報マップより）

## 南海トラフ地震臨時情報 （巨大地震注意）

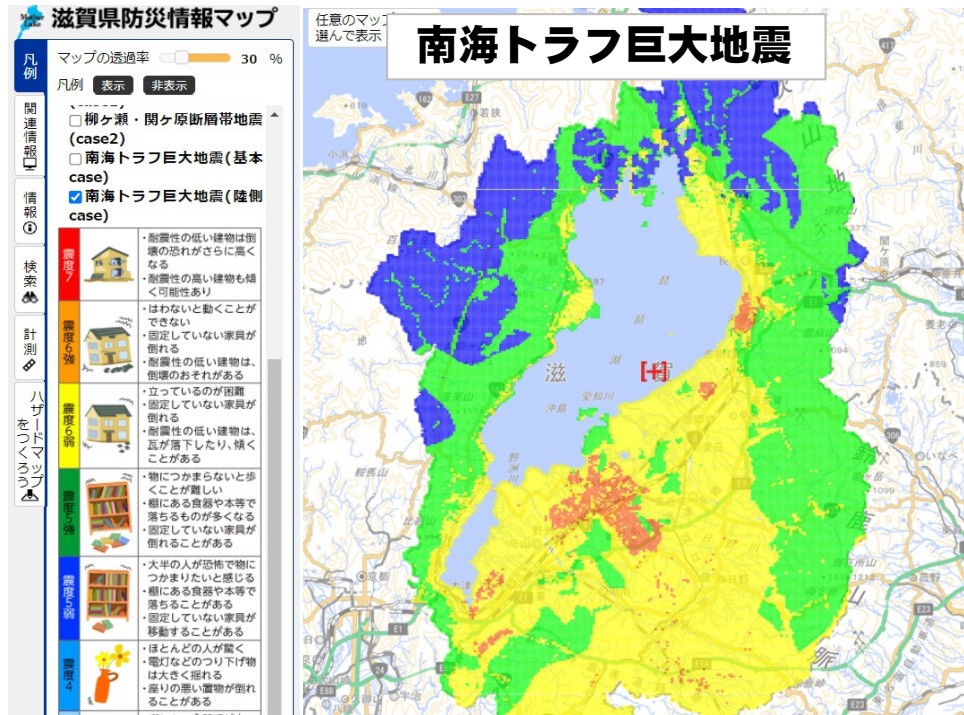
南海トラフ地震の発生可能性が相対的に高まっているとして、気象庁は8月8日上記を発表し、少なくとも1週間は地震への備えを再確認するようと呼びかけた。政府の地震調査研究推進本部は、南海トラフにおいて今後30年以内にM8～9級の巨大地震が70～80%の確率で起きると推定している。

滋賀県全域もこの臨時情報の対象地域とされた。

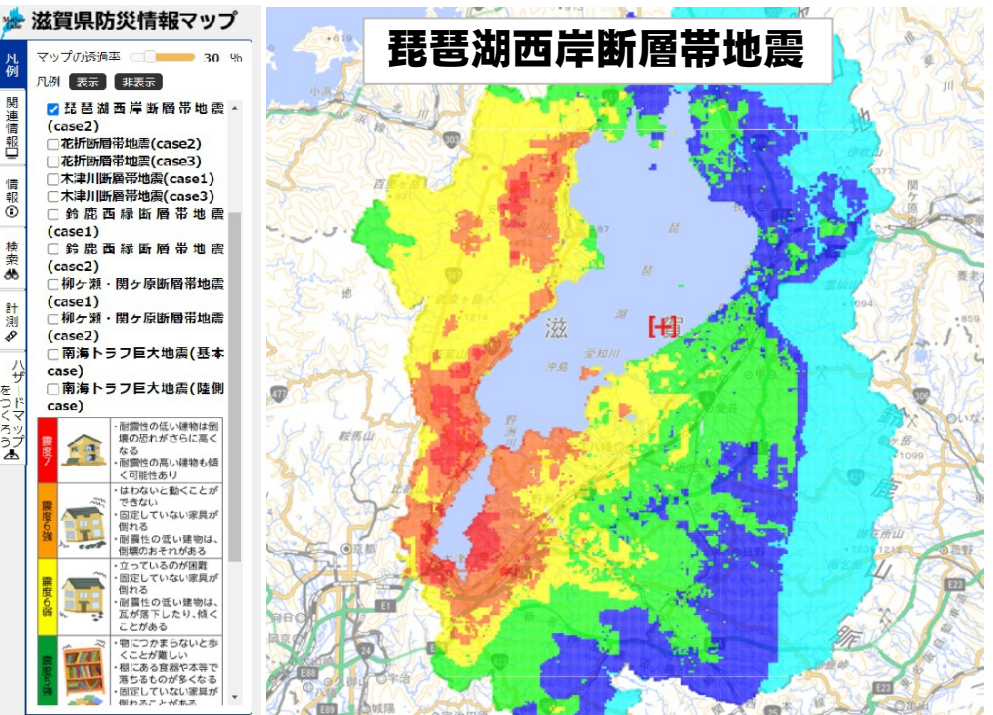
このようなことから、滋賀県が発信するハザードマップで、南海トラフ巨大地震による被害想定を確認しておく。また、琵琶湖西岸断層帯地震による被害想定も確認する。このハザードマップは、起こりうる最大クラスの地震を想定し被害想定を出したものであり防災対策を検討するための指標となるものです。（小唐崎・桜本北自治会）



(出典: 読売新聞)



下阪本では緑色、黄色に着色され、最悪、震度5強～6弱が予測される。



下阪本ではオレンジ色、赤色に着色され、最悪、震度6強～7が予測される。